



新しい総合事業・新規事業の紹介

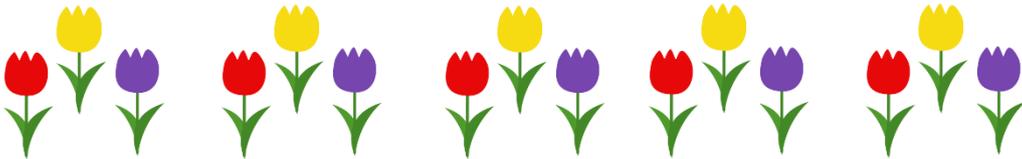


理事長 新井剛太郎

秩父市では平成28年4月より「ちちぶ版 地域包括ケアシステム」が始まります。これは介護保険がスタートする時、国民が掲げた目標で長年住んだ地域で、長年暮らした自宅で、自立しながら健康寿命を延ばしていく生き方をしたいというものでした。厚労省は、この国民の声を原点として健康な元気老人も含めたシームレスなるケアシステムを構築し、医療の減少を図りながら安心安全な生涯を過ごしていただくことから、いくつかの新しいサービスを追加しました。地域住民主体の地域サロンと要件を緩和した通所サービスAもその一つです。この地域サロンは家族に代わり、住民同士が助け合う「共助」を目的とし、地域住民の融和や絆を深め、お互いを護っていくシステムです。

[社会保障審議会介護給付費分科会からの提言](事前提出資料より)

- 健康寿命の延長、その延長線上で在宅での限界点をさぐり発見に結び付ける。
- 閉じこもりや廃用症候群等の虚弱老人に自立支援移行を促す。
- 認知症については多職種連携で支え、認知症高齢者の生活リズムを地域の中に作り上げる。



平成28年度を迎えて

園長 内藤優子

皆さまお健やかに春の日をお過ごしのことと存じます。いつも白砂恵慈園にお心に掛けて頂き、感謝申し上げます。

さて、かねてからの計画であった地域密着型小規模特養が、秩父市と建設へ向けての協議が整いました。平成29年3月には、29床の特別養護老人ホームが秩父市永田町に完成いたします。地域住民と共にある施設にしてまいりたいと思います。

昨今、慢性的な人材不足の中で介護の質が問われております。尊厳の保持を第一に考え、「身体拘束ゼロ」「水の生理学から科学的介護の実践」「オムツはずし」「車椅子から椅子へ」「ジョクソウゼロ」「リスクマネジメント」など、全ては幸せな時間をお過ごしいただくために職員は労力をいとわず取り組んでおります。ひたむきに、そして誇りを持って働く職員の姿とご利用者様の笑顔の毎日を知っていただければ幸いです。今年度もご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



しらすな

平成28年

4月吉日
第74号



〒369-1501

秩父市吉田久長一八六一
電話〇四九四一七七〇〇九九

特別養護老人ホーム
白砂恵慈園

新春相撲大会



職員が力士になって相撲を取りました！
普段見ない職員の姿と、楽しい取組みで皆様大変盛り上がりました！



カラオケ大会！！
素敵な歌声が響きました。

☆イベント・日頃の様子☆



年女の方が福娘になって幸せのおすそわけ！





☆手作りおやつ☆

栄養課 南 裕也

桜の便りが次々に聞かれるこの折、日増しに春めいてきてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

白砂恵慈園では月に1度、職員とご利用者様で手作りおやつ作りを行っています。

ホットケーキ、おまんじゅう、たらし焼きなど、ご利用者様に喜んでいただいております。写真でも皆様とても表情もよく、楽しそうにされています。

出来上がったホットケーキを美味しそうに食べている姿をみると、職員一同とても暖かい気持ちになり次は何を一緒に作ってご利用者様に喜んでいただけるか楽しみにしています。



手作りおやつ作りでは、普段とは違う雰囲気と、皆様に作る喜びを大切に、安心して安全に行ってまいります。ご利用者様が好きだったもの、このおやつをよく作っていたなどありましたら職員までお声かけください。

ご利用者様が笑顔で日々過ごしていただけるようにおやつ作りに取り組んでまいります。



美味しいホットケーキができるように、力が必要な所は男性にも手伝って頂きました。



ボランティアさんの歌声に聞きほれて…

秩父夜祭に行ってきました！



華道クラブにて



誤嚥性肺炎について

看護課 森田邦子

誤嚥（飲み込み障害）によって口腔内の細菌が食べ物や唾液、痰と一緒に肺に入り込み、炎症を起こすことがあります。それが「誤嚥性肺炎」。肺炎は日本人の死因の第3位で、80才以上の肺炎のほとんどが誤嚥によるものです。

食べ物を飲み込むときにむせることがあったら要注意。しかし、普段の心がけで発病を妨げるので、日々の生活ケアに務めるが大切です。

発病が疑われる主な症状は、次のとおりです。

- 1、食事中にむせる。
- 2、食べた後に声がかれる。
- 3、食べているのに痩せてくる。
- 4、体力がなく疲れやすい
- 5、痰が増える。
- 6、食欲がなくなる。
- 7、微熱がある。

※ こうした症状が続く場合は、受診することをお勧めします。

※ 夜間ぐっと上がり、昼間急に下がるなど、変動する熱が特長

誤嚥性肺炎を予防する8か条

- 1、よく噛んで食べる（唾液の分泌を高め、口内の清潔を保つ）
- 2、椅子に座ってテーブルで食べる（かむ力と飲み込む力を高める）
- 3、嚥下機能に合わせた食事をする（飲み込みやすい食品を選ぶ）
- 4、ていねいな口腔ケア（歯周病菌など口内細菌を除去する）
- 5、水分をよくとる（脱水は唾液の分泌や身体機能を低下させる）
- 6、正しい呼吸をする＜深呼吸・鼻呼吸＞（口呼吸は細菌が繁殖しやすい）
- 7、よく歩くなど体を動かす（運動は嚥下に大切な体力や呼吸機能を高める）
- 8、レクリエーションでよく話し、よく笑う（呼吸と口の機能を高めるのに効果的）



看取り講演会で発表しました。

看取り委員会

先日3月5日 長瀬公民館にて『今から考えよう！あなたはどこで最期を迎えたいですか？～その選択を私達専門職が支えます～』をテーマに白砂恵慈園での看取りについて発表をしてきました。講演者は、『市立病院 勅使河原院長』『ビラ・ベッキア 中島支援相談員』『生協病院 新井看護長』『小鹿野中央病院 加藤医師』と白砂恵慈園では、介護主任の新井由紀さんが発表に参加し、当日は100人程方に来て頂きました。講演では様々な施設の取り組みを専門職から話がありました。

今後も白砂恵慈園での看取りケアにおいて、その人らしく白砂恵慈園で良かったと思って頂けるようこれからも取り組んでいきたいと思えます。

編集後記

園内の草木も次々に花を咲かせる季節となりました。

華道クラグ、読書クラブ、俳句クラブ、理容、歌・楽器演奏など様々なボランティアの皆様のご協力もいただきながら、日々笑顔のたえない生活を送っていただけるようつとめております。

これからも、『笑顔満開』をめざして、微力ながらも励んでまいります。

広報担当 小林 南 斉藤 島田 佐野 松岡

